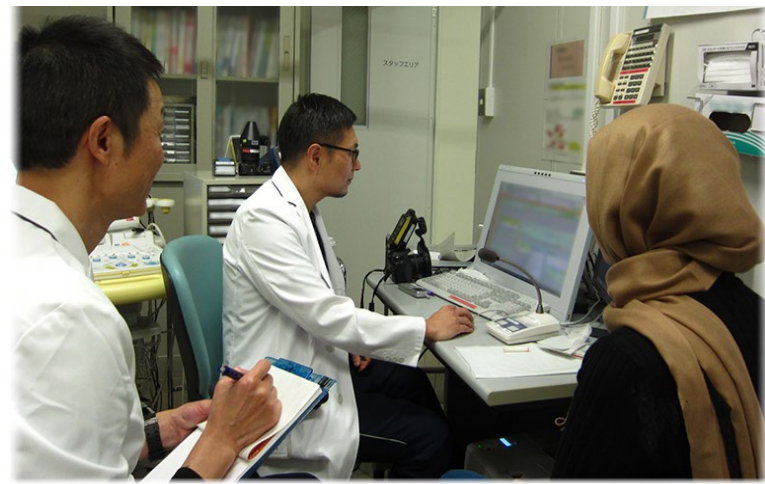


2026年度 大阪大学 医療通訳養成コース



厚生労働省「医療機関における外国人患者受入環境整備事業」で作成された「医療通訳育成カリキュラム」を参考に、医療機関で活躍する医療通訳者を養成するコースです。医療機関で通訳を行う専門職として必要な「知識・技術・倫理」を身につけます。

※本コースは、大阪大学履修証明プログラムに認定されています。また、文部科学省の職業実践力育成プログラム(BP)に認定されています。

**オンデマンド講義&オンライン講義で、
時間・場所を有意義に使った自学自習が可能！！**

充実の講師陣！ 遠隔通訳・対面通訳、両方の現場研修あり！

■開講期間：2026年5月～11月

- ・オンラインリアルタイム講義(9:30-17:00)：土曜日全18日予定
- ・座学動画視聴講義(映像授業)：28コマ程度<24時間いつでも視聴可能>
(※1コマ=90分、配信スケジュール有)
- ・現場研修：10月～翌年2月の間で調整(全4日予定)

■会場 講義：オンライン 現場研修：病院等各施設

【募集】英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語 計30名程度

※受講者が少ない言語は、開講できないことがあります。

【対象】

- ・原則20歳以上
- ・ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)におけるB2以上 ※右枠参照
- ・母語において、大学入学程度の語学力と高校卒業程度の知識がある方
- ・母語、対象言語の国や地域における習慣、社会常識を理解している方
- ・文化や社会において異なる価値観を認めることができる方
- ・利用者に対して基本的な尊敬を持ってコミュニケーションを図ることができる方

【受講料】

- ・300,000円(税別) ※振込手数料はご負担願います

【受講方法】

申込み ⇒ 書類審査 ⇒ 審査通過者 ⇒ 受講前テスト ⇒ 受講決定

※受講前テストには受験料3,000円(税別)が別途必要です

◇受講前テスト日程：4/4(土) ※オンライン試験

・まずは、下記Webサイトから受講申請書をダウンロードし、資格証明書を添付の上、メールまたは郵送にてお申し込みください

<https://conso-kansai.or.jp/interpreter/index.html>

申込受付期間：2026年1/23-3/12(必着)



各言語別学習能力試験 『CEFRにおけるB2以上』の目安

中国語 HSK6級

英語 TOEFL iBT87-109

TOEIC Listening400以上

Reading385以上

ポルトガル語 中級

CELPE-Bras Intermediário Superior,

CAPLE DIPLÉ

スペイン語 DELE B2

日本語能力試験 N1

※上記の試験資格は必須ではありませんが、上記に相当する語学力が必要です。



主催 大阪大学大学院医学系研究科、一般社団法人 りんくう国際医療通訳翻訳協会 (IMEDIATA)

後援 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター、株式会社東和エンジニアリング東和通訳センター

講義内容(予定)

■医療の基礎知識

- ・身体の仕組みと疾患の基礎知識
- 各診療科領域の基礎知識
(消化器/呼吸器/循環器/内分泌代謝科/
泌尿器/脳・神経科/神経内科/感染症内科/皮膚科
免疫・アレルギー内科/整形外科/放射線科/眼科/総合内科/
精神科/神経科/産婦人科/小児科/耳鼻科/歯科)
- ・糖尿病の基礎知識・乳腺疾患の基礎知識
- ・血液輸血に関する基礎知識・災害・救急に関する基礎知識
- ・麻酔の基礎知識・薬に関する基礎知識/透析の基礎知識
- 日本の医療制度/社会保障に関する基礎知識

■通訳理論と技術

- ・通訳スキルトレーニング(理論と実践)
- ・通訳基礎トレーニング・ノートテイキング/情報の収集方法
- ・医療通訳の役割
- ・用語集の作成方法・通訳実技・演習

■倫理とコミュニケーション

- ・医療倫理(患者の権利と責任・心理)
- ・医療通訳倫理/演習・日本に暮らす外国人/
外国人医療の現状(外国人の在留資格とビザ)
- ・コミュニケーション/異文化コミュニケーション
- ・医療通訳者のコミュニケーション(理論と実践)/患者との接し方

■医療通訳者の自己管理

■外国人患者対応医療コーディネーターの役割

■模擬通訳 ■ロールプレイ

講義日程(予定)

<リアルタイム講義 5月～11月の土曜日 全18回(予定)>

5/23, 5/30, 6/6, 6/13, 6/20, 6/27, 7/4, 7/11, 7/25, 8/1,
8/8, 8/29, 9/12, 9/26, 10/3, 10/17, 10/24, 10/31,
(予備日) 8/22, 9/5 11/7

・時間:9:30-17:00 (1日90分授業を最大4コマ)

<VOD受講 最大全36コマ(※一部リアルタイムの場合有)>

・全36コマを週2コマずつ順次公開、各コマ1ヶ月間のうちに受講

形式(主にオンラインを予定)

座学/演習/ロールプレイ/レポート・用語集作成/

修了要件

- ・全講義・研修への参加
(動画視聴による補講可能、出席必須の講義・研修は補講不可)
- ・課題の提出・修了評価試験(筆記・実技)の合格

病院実習内容(予定)

- ・大阪大学医学部附属病院研修
- ・りんくう総合医療センター研修(個別実習)
- ・東和通訳センター研修(遠隔医療個別実習)
- ・大阪赤十字病院

病院実習実施期間(予定)

2026年10月～2027年2月の期間の平日/土曜日で実施予定
(日程は各種調整後決定します)

※上記カリキュラムには調整上変更の可能性がありますのでご了承ください



問合せ
申込先

大阪大学医療通訳養成コース事務局

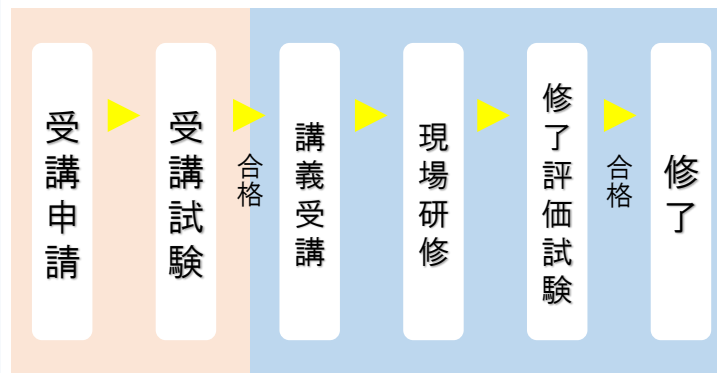
(一般社団法人 りんくう国際医療通訳翻訳協会 (IMEDIATA)内)

※3月末まで、事務局は一般社団法人 臨床医工情報学コンソーシアム関西が担当します

med-inter@cgh.med.osaka-u.ac.jp

医療通訳養成コースWebサイト: <http://conso-kansai.or.jp/interpreter/index.html>

大阪大学医療通訳養成コースの流れ



◆医療通訳教育、医療専門家による充実の講師陣(予定)

南谷 かおり りんくう総合医療センター 健康管理センター長
兼 国際医療広報センター長

入交 重雄 医誠会国際総合病院

村松 紀子 医療通訳研究会(MEDINT代表)

各講義の受け方(2026年度)

医療の基礎知識	オンデマンド(動画)受講 ※一部リアルタイムの可能性有 (毎週3コマ動画配信、視聴期間1ヶ月程)
日本の医療制度/社会保障に関する基礎知識/ 倫理とコミュニケーション/ 通訳理論と技術(座学)/ 外国人患者対応医療 コーディネーターの役割 等	リアルタイム受講推奨 (オンライン、土曜日、後日録画視聴有) ※リアルタイム欠席時、追加課題有 ※後日録画視聴不可の講義有
通訳理論と技術 (通訳技能・演習)	リアルタイム受講必須(オンライン、土曜日) ※後日録画視聴不可
現場研修	リアルタイム受講必須 (現地、各施設平日1日、10月～2月に全4日間)

【受講生の声】

医学知識、コミュニケーション、通訳技術などバランスよく配分されていると思いました。

医学的な知識だけでなく、通訳者としての心得なども習得できた。

日本の医療事情はじめ各専門医の講義、高度なロールプレイ、病院実習、内容はとても充実していたと思います。

第一線で働いていらっしゃるドクターから直接講義を受けることができ満足しています。医学系の授業、実習の密度が高かった。

自身に欠けていた医療知識の面を習得できる講座だった。また、これからの活動において何が改善点なのかも良くわかった。

病院実習により医療各専門家の手術、検査、治療を見学することができ、チーム医療も目の当たりにすることができた。

当初こんな難しいこと役に立つのかと不安でした。しかしすべて修了してこのような素晴らしい体験はここでしかできないと実感しました。